I.C IZUMI COMICS

Cuvie

成年コミック

Because I want to do it so...

しないから


はっ
あっ
あんっ
あはっ♡
はっ
はあっ
はあっ
んっ……
あっ
あぁあ…っ♡
美月
お姉ちゃん
……っ
し――っ
……♡
自分が何を
されているのかは
わかって
いなかった
んっ……

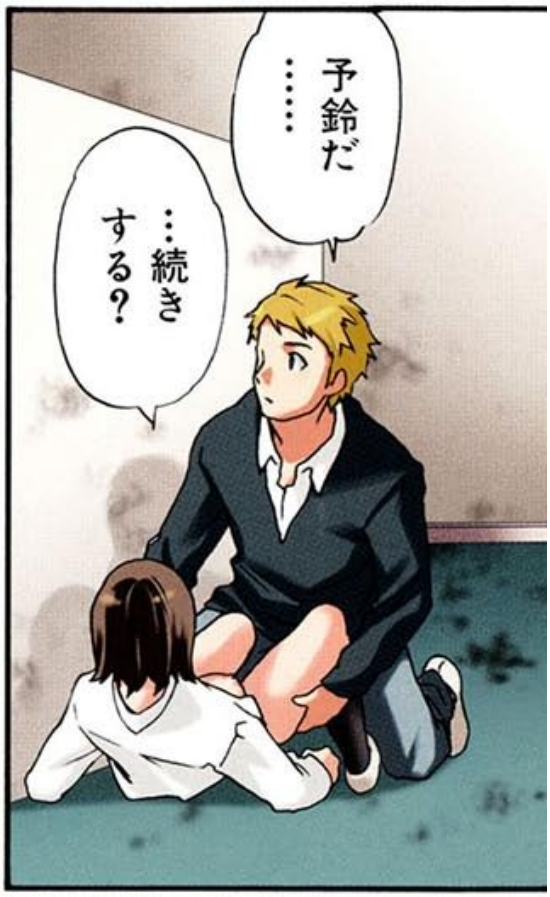

秘密たと
脅された
わけでもない
でも大人たちには
何も話さなかった
ただただ
恐怖と羞恥と
快感に心を
支配されていた
MELT


あっ……
一樹いっ…
だっだめだよう…っ
そんなトコ恥ずかし…っ
あっ
はっ
はあっ♡
ひゃ
は…っ
あ……っ♡
あ～～……っ♡


キーンコーン
カーンコーン
…はっ
はっ……


私ばっかり
いつもこんな
……
なんか
不公平だよ
一樹


いや授業
戻るよ
テスト前だし
サボリ気味で
まずいから
も――
また――?


予鈴だ
……
…続き
する?


一緒に気持ちよく
なりたいのにな
……
……
……


…私
魅力ないのかな
……
え？
だって私で…
イってくれたこと
ないよね？
それどころか
最近
……
……
…
私自信
なくすよ…
ハハハ…
それはこっちの
台詞(セリフ)だし
こももが気にする
ことじゃー…
こももは十分
かわいいし
魅力的だって


本当に俺
ももものことが
好きなのか
そうそう
駅前にさ

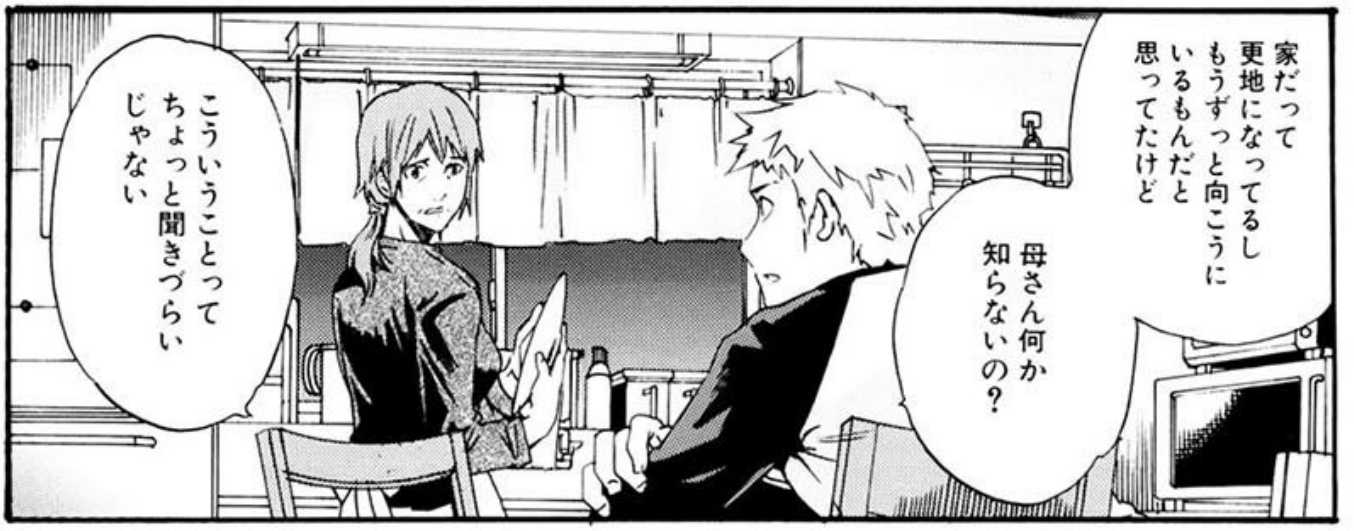

もう
一樹ってば
とは
いいつつも


かわいいとは
思う
告られて断る理由も
なかったから
付き合ってるけど
ずっと違和感は
あるんだよな


勃たないんじゃ
……


俺!?
――樹?
誰か
知ってるひと
……
……いや
何でも
ないよ…


——ああ
美月ちゃん？
お父さんの都合で
引っ越しちゃって
以来…
いつだったかしらね
そうそう
帰ってきてる
みたいよ
懐かしいわねえ
あんたよく
遊んでもらった
でしょ
もう8年も
前だよ
何で
今頃…


家だって
更地になってるし
もうずっと向こうに
いるもんだと
思ってたけど
母さん何か
知らないの？
こういうことって
ちょっと聞きづらい
じゃない


ほら母さん前に
田崎さんとこの
奈美ちゃんの
里帰りで…
旦那さんのこと
亡くなったとは知らず
話聞こうとして
悪い事したもの
事情が複雑そうな
ことには
首つっこんじゃ
だめだなあって…

美月
お姉ちゃ…

美月さんは
結婚はしてない
だろ！

聞き方とかさ
…あるじゃん！

それに
帰ってきたの
知ってんなら

きょとん

なんでもっと早く
俺に教えなかっ
……

ガタン！

ちょっと
出てくるっ

ううう
ああもう
いいっ

もうすぐ
ごはん
できるわよ
ー？

……ああ
そういえば
あんた

美月ちゃんのこと
だーいすきだった
ものねえ？


ったく……
一樹くん？
久しぶり


ここは変わんないね
あのときのまんま退屈な町


でも向こうはもっと退屈でひどい場所だったけど
そう…なんだ
うん


一樹くんが
いなかったからね


元気に
してた？
…あ……

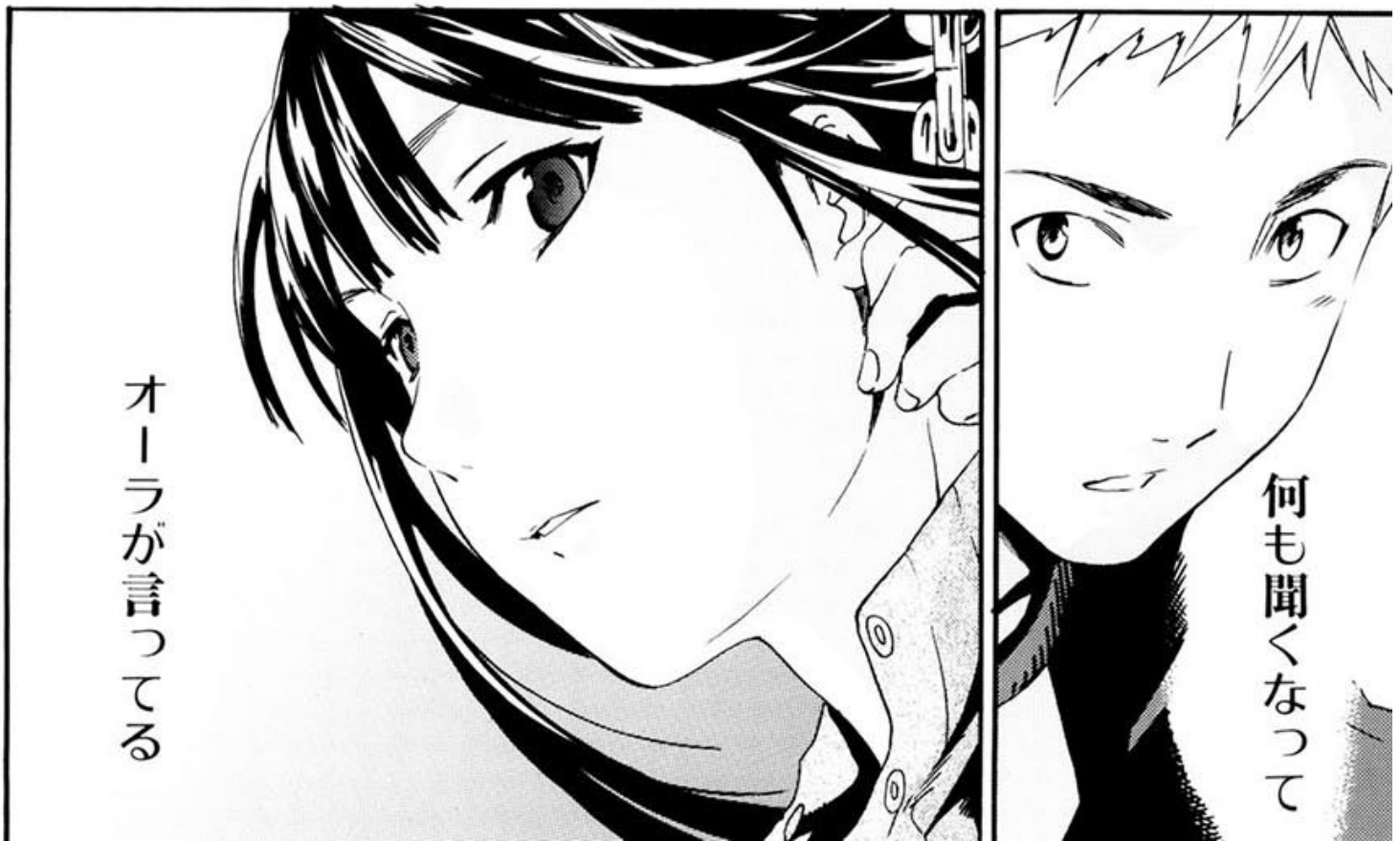

…何の話？
な
なんのって
……


あのとき
みたいに…
すんの？
何もすること
ないからって
…俺に……


昔はっ
いろいろ
楽しかったよねっ


彼女ができちゃったかー一樹くん
昼間一緒にいたかわいい子ってそうなんでしょ？
あ…うんそうだけどさ……


泣かせちゃだめだぞー
美月お姉ちゃんは変わってない


何も聞くなって
オーラが言ってる


でもあれは
確かにあった
ことなんだ
…アンッ♡
あっ♡
はあっ
スゴ……
気持ちいいっ
ようっ
あ
ああ
ア…ッ♡
かず・きっ♡
くぅんっ
はあっ♡
んんっ♡
あ――…っ♡

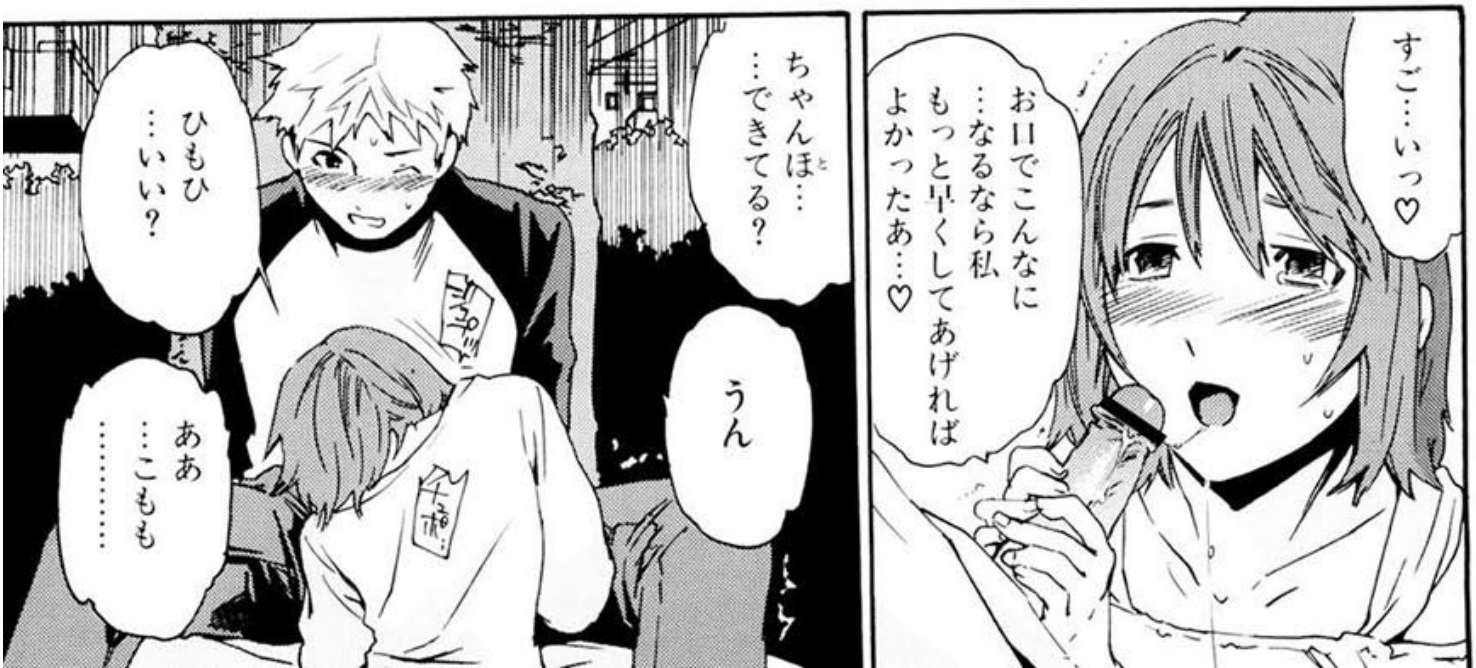


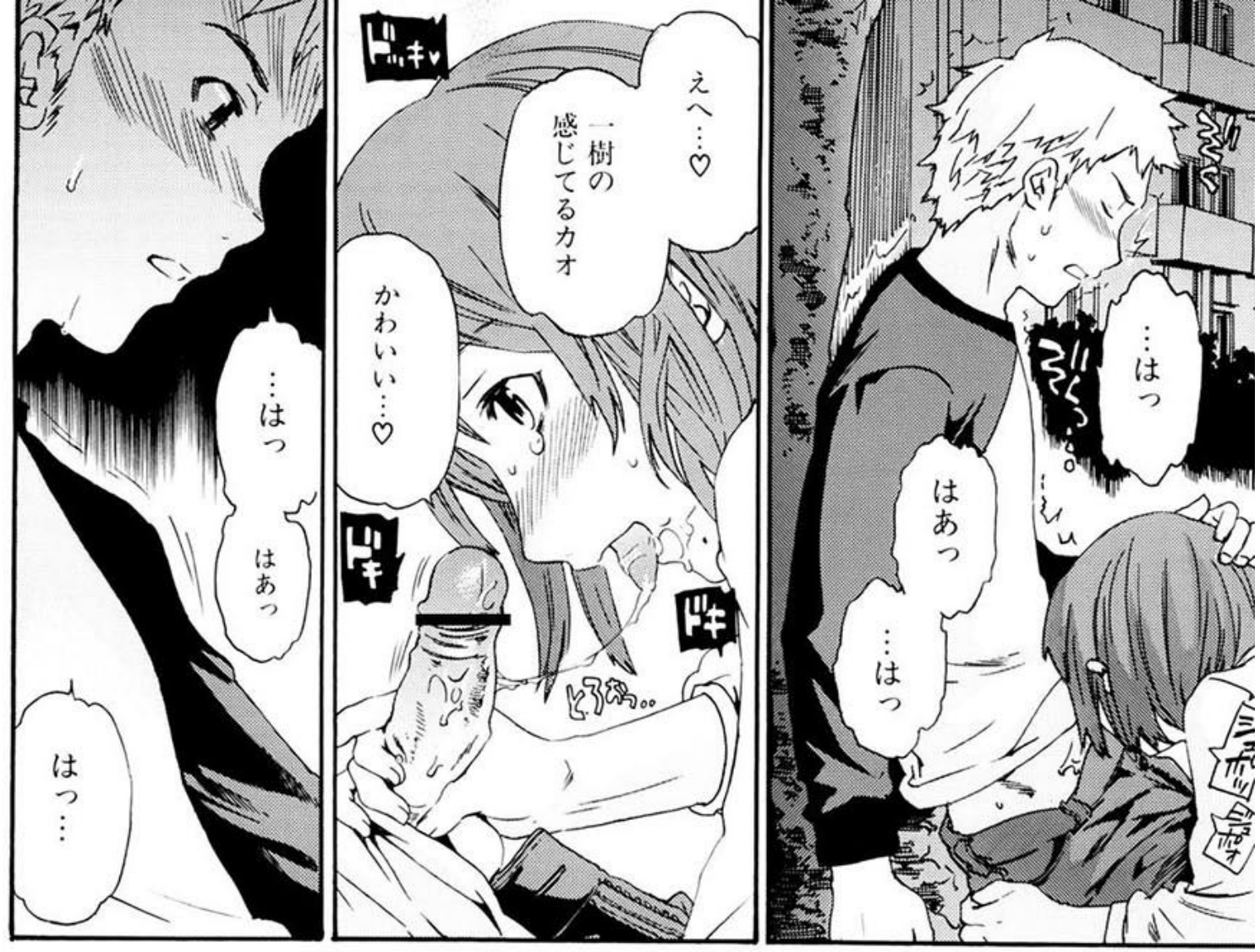
——本当に
あのときの
ままだね
…美月さん


でも俺は
変わったよ
背も伸びたし
力も強くなった
なーに
考えてるかなっ
一樹くん
ごめん
なんでもないよ
美月さん
今なら俺
美月さんのこと
きっと
もっと
…んっ…


はっ
はあ
はっ……
ん…っ♡


ぷはっ♡


すご…いっ♡
おIIでこんなに
…なるなら私
もっと早くしてあげれば
よかったあ…♡
ちゃんほ…
…できてる？
うん
ひもひ
…いい？
ああ
…こもも
……

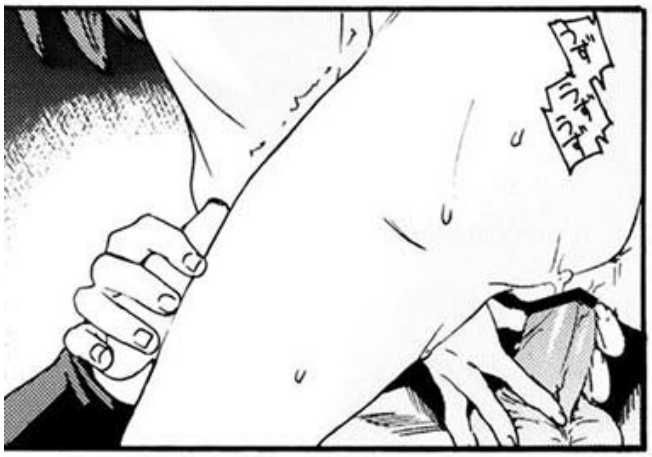

…はっ
はあっ
…はっ
ドキ
えへ…♡
一樹の
感じてるカオ
かわいい…♡
ドキ
ドキ
とろ…
…はっ
はあっ
はっ…


ドッキ
ドキ
ドキ
ね…今日は
私にさせて…
はっ
はっ…
私でもっと
気持ちよく
なってほしいの…♡


は……


か♡
一樹は
なんにもっ
しちゃ…
だめ…っ♡


あ
…あっ
は…
…ん
ふ…っ♡



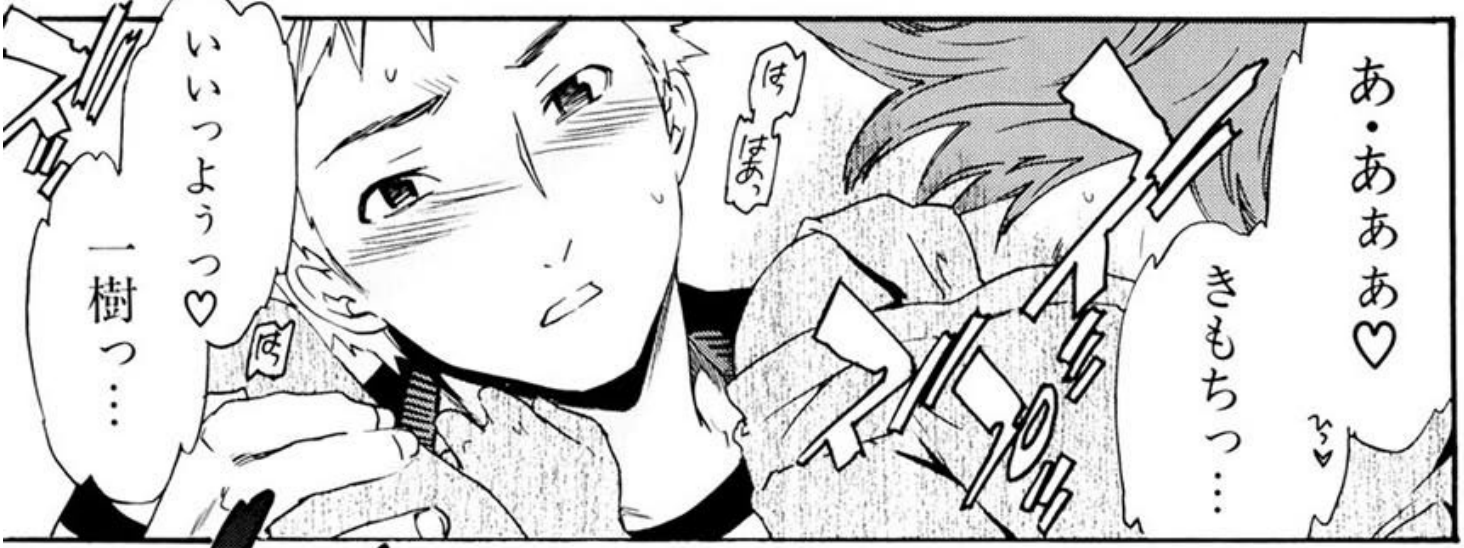

ヘヤラ!
グポーッ


あッ
あぁ♡
んッ♡
やあっ♡


しっ
しちゃダメってっ
言ったのっ
にいっ
～～～…♡


…ごめんっ
ガマン…
できなくてっ
かっ♡
一樹…
…っ♡
あっ
あぁ


あはァ
ン♡
やっ…奥に
あ…たって
あんっ！
もっ♡
ひゃめ
え～…っ♡


あ・あぁぁ♡
きもちっ…
はぁっ
いいっようっ♡
一樹っ…




キュンキュン♡
ア♡
…ッ♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ


はっ
はあっ
あっ
あっ
あんっ
はっ…
美月…
美月っ…
あむ…
ふっ…
…ッ
んんっ
ふうっ
…あーっ
はっ
はああ♡
うっ…
お
出るッ
……
ア♡
ひあ…ッ♡
美月っ
みっ…
美里…


私有地
MELT vol.2


お義父さん…
――


美月さん？
……
一樹くん
……！
ギュ…


……
どうしたの…!?
あはは
ちょっと思い出に
浸ってた
本当に何も
なくなっちゃったね
私の家
窓から見てた
一樹くんの家も
もう見納め
これで最後
もう二度も
見ることも
ないって
思ったらね…


えっ…
またこの町で
暮らすんじゃ
……
うん…それも
いいかなと思って
たんだけど
もうこの土地に
未練全く
なくなっちゃった！
二度と帰ることは
ないと思う
これで完全に
お別れだね
一樹くんとも
元気でね


…そ……
そんな！
そんなのっ
…
もう
やだなあ
そんな目
しないでよ


どこに…
行くって？
この近くなら…
いや近くじゃ
なくてもいつでも
会えるじゃん！
会いに行くよ
俺！
もう子供じゃ
ない！


だから
お別れとか
……
ふる
ふる、


——彼女を
大切にしてあげて


今それは
関係ないよ！
どこ
行くんだよ
美月さん！


泊まってる
ホテルに
戻るの


そうじゃ
なくて！


またいきなり
いなくなる気か？
どこか俺の
手の届かない
ところへ…！


一樹くん…！
美月さんのこと
俺全然
忘れられなかった

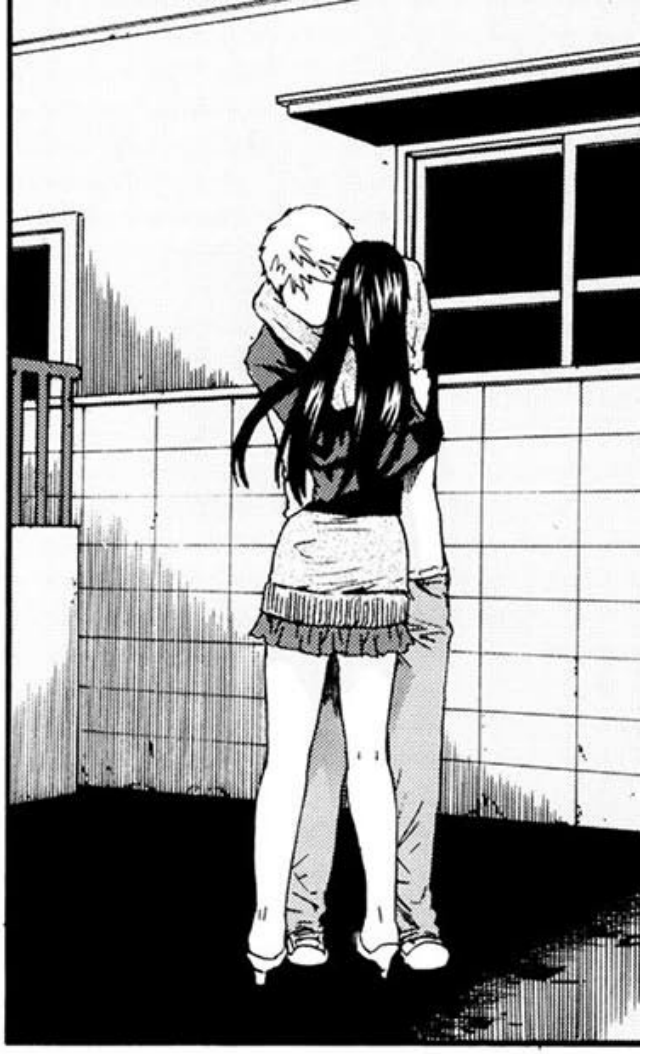

美月さんが…
大好きな人が
いきなり
いなくなって
ショックで…
それは今でも
ずっと尾を
引いてるんだ
どれだけ
傷ついたと
思う？


——だめだよ
一樹くんには
大事にしてあげなきゃ
いけない人がいるのに
……
…だめ…




ちゅっ…
――あ…
…そんな目で見ないでって言ってるのにっ…


ポロポロ
一樹くんっ…!!
ポロ








くそ…
鎮まれ俺っ
美月さんは気持ちを
落ち着かせるために
シャワーを浴びて
るんであってっ
俺は下心なして
心配たったんだ！
本心だっ!!
ドッドッドッドッ


なのに
……


…あ…
ペタ…
ギシッ
待って
ドキ
あっごっ…
ごめんっ
俺っ…
そんなつもりじゃ
なくて
みっ美月さん次第
…っていうか…くそっ
俺何言って…
あっ!?
ドクン


美月さ…っ
ぐぃ…
…このまま
帰らせるのは
酷だとわかってる
けど…


私
もう
したくないの


今彼女のことを
想うなら
帰って
！
そ…
んなことは
別にっ
俺は期待
してな…
私のことを
一番大事に
してくれる人以外と
もう寝たくない


…俺
こもものこと
頭になかった
今の今まで
すっかり忘れて
……
——ごめん
こもも
でも
俺…


今っ！
はっ
はっ
美月さん以外の
こと何も
考えらんねえっ!!!


ふっ
うっ
……っ
ん
ふうっ
ちゅぱ
ちゅっ
ちゅぷ
ちゅっ
ちゅぷ
ちゅっ
は…
なら…
いいよ
私のこと
…好きに
しても…っ
君になら
はぁ
ううん…
お願い
は
ちゅ
ちゅぷ…
私っ…
は
はぁ
どうされても
いい…っ!!
は


美月さん…っ
あっ♡
あっ
ああっ
は♡
んっ
は――
は――
は――っ
……っ
は
あっ…


ぬるっ
う
あッ


みっ
くちゅ
ちゅくっ
みつき…っ
さん…っ


…思い出す？
あの頃の
…ことっ
ほっ
ほっ
ぽっ
私何回か
こうやってっ
一樹くんのこと
じらしたのっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ


！


ッ
あ♡
ア
あっ


これ以上…じらすなんてっ
はっ
あ♡
んっ
はっ
俺っ…今までどんだけ待たされたかっ
や♡
はぁ
好きにしてって…言ったよね美月さんっ
あ
や
…っ
なら俺っ


我慢なんてしないからっ
ひゃっ
あ♡
ふぁあ♡


美月さんっ……
あ
美月さんっ
あァッ
んっ♡
あぁっ
ふぁあ♡
ぎゅんぎゅん
…締まって
…きてっ
さっきから
美月さんが小さく
イッてるのを感じるっ
あッ
…入れた
ばかりなのに
奥までっ
…なんてっ
うあ…っ♡
とろけちゃう
〜〜よっ♡
うそ…っ
こんなっ♡
一樹くんっ♡
こんなっ♡
こんなにっ…


それを
こしあけて
奥を犯すのが
…気持ちいい
こんなに小さくて
か細かったんだな
ッ♡
は♡
う
ああ♡


くそっ
優しくしたい
…のにっ
くうっ
い
あっ
いっちゃ
…っ♡
ものすごく
欲してしまう
ッ!!
…っ!!
みっ
美月さっ…
ああ…ッ♡


何度も
何度も
はっ
はっ…
一樹…っ♡
くうんっ…
もう…っ
は――っ
は――
く……っ


この人の中に
注ぎ込みたく
なる
ア♡
は…
あ
…っ
あぁあ
くっ…♡


今まで
ためこんできた
ものを全て
ブチまけて
快感で
支配して
どこにも
行かせない
8年間俺が
そうだった
ように――…
To_be_continued


はっ
ブーン…
ブーン…
着信中
ももも
はあ
ああっ
ひゃあん♡
ふっあ
あぁあ…ッ
あ
ア


う…あ
もう…っ
こっ
こわれちゃ…っ
一樹くうんっ…♡


みっ
美川さんっ
はッ
あ
あッ♡
美川さんっ
美川さんっ！
あ——ッ♡


色々問題が
ある…のに…


あっと
くしゃくしゃ
やべ…
好美
090-5632-XXXX
ケータイに
入力しとか
ないと
あー
俺って単純
想像もできなかった
夢みたいなことが
現実になったからって
浮かれちまって


へっ
へへっ
君にならどうされてもいいっ♡
く――

MELT vol.3


ううん
いいよいいよ！
特に用も
なかったんだしさ！


一樹！
なあに？
昨夜…二回
電話
くれてたろ
ごめんな
返せなくて


こもも！


ただ…
昨夜は嬉しかったから…
寝る前に声聞いときたいなって…なんて
えへへ


あっ…
あのさ
今日…
一緒に
帰れるか？


話が…
ごめんっ！
親に郵便局の
振り込み
頼まれてんだ
ダッシュで
帰んなきゃっ
ニもも――
次移動だよ――


そっ…か
夜また
電話
するね！
ニもも――
はーい
はいはい


――それで
彼女には
話せなかったんだね
私達のこと


うん…でも
明日には
必ず……
ホントにぃ？
ほっ
そっ
そんなこと
…思うわけっ
ならよろしい♡
チュッ
チュ…
スルスル
このまま
ズルズル二股
かけるつもりじゃ
なかろーなっ♡
ゴソ
ッ
うあっ!!


！
みっ
美月さんっ
うん？


しなくて
いいからっ
Hでとかっ
あん
やっぱまだ
嫌いなの？
へ？


え？
いやっ
別に
嫌い…じゃっ
ちゅ
ちゅぱ
ちゅ…
ちろっ
なら…
いいでしょ？
私
一樹くんのこと
キモチよく
したい……
……っ
ち…
だ
だめだってっ
!!!
…一樹くん
…あっ
ごめ…
俺
なんで…
こものときは
こんな…
後ろめたいような
変な気分には
ならなかったのに
——見てたから？


え…？
未だに…
気にしてるの？
トラウマ？
な
何が…
私達が
こうなった
全ての
始まり
あの日の
ことよ
あの日――
君は
いつものように
二階から
私の部屋に
忍び込んで


私を慌かそうと
クローゼットに
隠れて
そして——


んっ
んんっ
ちゅっ
ちゅぷ
んっ
ふっ…
は…
あ
ぺちゃ
ぺちゃ
はあっ…
いい
いいよ
美月…
うぷっ
んんっ…


そう…っ
唇をすぼめて
しごくように
んっ
ん
ふっ
う
んんっ
はっ
はふ
はっ
そろそろ…だっ
美月
うっ
…くっ
口を…っ
……
……
う…おっ
ッ…


…は
はあ
はあっ…
ポニ
ポニ
……
飯を作る
おまえは少し
休んでから
来なさい
…ん…
ハア…
は


ガバッ
ッ!?
!!
ぬるっ


ぐ
うえっ
なっ
なにす
…あ…
うあ…っ
…気持ちいい
……？
悪いことは
…気持ちいい
よね
着替え中の私を
おどかすよりも
ずうっと気持ち
いいでしょう？


あっ
悪い子
恥ずかしい子……
…っく
う
…やだっ
やめてよっ…
美月お姉ちゃ…
あ
あ
あっ!?


……っ
ひっく
うっ
ううっ…
なんだよ
コレッ…


美月…
ひっく
本当に
悪い子


本当に……


そうだ…
そうだった
…俺…
その辺の記憶
全部飛んでた
……
――君が義父と私の
関係を黙っていて
くれたのは
嬉しかった


クス
忘れたい記憶
だったんだね
でもそれじゃ
どうして君と私が
あんなことをしていたか
わからなくなって
いたんじゃない？


え……
口止め
だよ


でもっ
秘密だなんて
脅された記憶は
俺にはっ…
脅すなんて
しないよ
だってあれが
とても恥ずかしい
悪いことだって
……
大人に知られちゃ
いけないって
君はわかって
いたものね
スル…
っ!!
今もそれは
同じ
あのかわいい
彼女に
知られちゃ
いけない…
恥ずかしくて
悪いこと
あ…ッ


そしてとても
気持ちいいこと
……
ビクビクッ…
ほぁ……


ピチ…
う…わっ
ろぉ？
ジュプッ
きもひ…いいれしょう？
し…知ってるよ…っ
こももがしてくれたから
ふうん…
ぬちゅ…
うっ……
何…言ってんだ俺
違うんだこんなことを言いたいわけじゃなくて
！


……分水嶺だね
はぁ…
え…
かわいい彼女の元に戻るか
それとも…穢れて嫉妬深くて
悪くて恥ずかしい女の私と一緒にドロドロに溶けていくのか…
…あッ
君はどうしたい？
ToBeContinued


MELT
vol.4
もうたくさんだ
もう俺を
翻弄するのは
やめてくれよ
…はっ
はあっ
はっ
はあ
……！
あなたは
こんな茶番を
どこまで
続けるんだ
美月さん——


ももこ
090-5XD
通話終了
プッ


…二回も同じこと
聞かないで
くれないかな


…?
一樹く…
…!
あッ…


かっ一樹…
くんっ
…俺はっ
あの頃から
ずっとっ…
いきなり
深…っ
ひゃっ！
この関係に
本気だったよ
あなたが…
打算や気まぐれや
八つ当たりで俺に
したことで…あっても
あう
俺にとって…それは
何にも替えがたいもの
だったんだから…っ
…ッ
はう…ッ


か…ずき
くッ
うんっ♡
あッ
どうかしたいか
…だって!?
それは俺の
台詞だよ


今になって
戻って…きてっ
いっ
俺を
どうした
かった？
俺を
どうしたい？
あッ
言えよ
あ
あ
アッ
なあっ
あ——ッ
言えっ
てんだっ!!!
うあぁッ…
はあっ
は——っ…
はっ…
…はっ
……
あなたの
ものに
……
なりたい


あなたは
…私の
初恋のひと
だもの…
私は
亡くなった
ママの代わりに
義父に抱かれ
彼の所有物に
なった
全て
彼の心の
ままに
住処も
変え続けて
……


それなのに
彼は私を放って
勝手に死んだ
最期まで
私そのものを
見ては
くれなかった
そのあと
出会った
男がいた
彼は私を
愛してると
言ったから
身を任せたのに
私の過去を
知った途端
私をさんざんに
罵倒して捨てた
あの軽蔑しきった
目つき——
忘れられない


…だから
自棄(やけ)に
…なったの
死ぬ前に
大勝負に
出ようって
私の人生でただ一人
好きな君のものに
なりにいこうって
私だってあいつらの
ことなんか
大嫌いだ!!
それが
無理でも
君のそばなら
生きていけるのかも
しれないって…


ビクッ
…大丈夫
もう離さない
からな
ガシッ…
!
…ひ
引かない
…の…?


俺の本気を疑うなよ


俺を試すなあっ…
……か……
美月は
俺のものになるんだろ？


…ッ
引く？
とんでもないな
…ン
ふ…
うッ♡
んむ…♡
美月を
自分のものに
できるチャンス
んっ
んく…
は…う♡
か…ずき
くぅん…
心も
俺のものに


あぅっ
もう
逃がすかよ


すっげ…なんで
こんな濡れてんの
やっぁ
…っ
美月
……
ぁ…


そんなに…
俺のものに
なりたい？
もう一回…
言ってよ
美月…
あッ！いっ
いじ…わる…ぅ
なりたい…
なりたいの…
あぁ
手に入れる
入れるんだ
あなたの…ものに
…お願いっ


俺のっ…！
ああっ…!!


あ
あァ
はあッ♡


ふあッ
あ♡
ああっ
一樹くんっ
かずきっ
くぅぅんっ♡


美月
……ッ
はぁあ…ッ♡


俺を…
頼ってくれてっ
ぼあ
ありがとう
…なっ
はん
はあ
あ♡
んっ


俺はまだ
一人で生活も
できない子供
だけど
ガキなりに全力で
美月を守る


んッ
んくっ
はあッ♡


だから俺のそばで
生きてろよ
美月っ
んっ…
うんっ♡


あッ
——美月の涙は
ずっと
止まらなくて
あーッ♡
ジュプ
ジュプ
あぁあ♡
っく
ふうッ♡
ゴクン
俺がなだめても
しがみついて
しゃくりあげて
うんッ♡
ジュプ
ジュプ
まるで自分より
ずっと小さな
子供のようで
くっ…
イキそっ
ふうッ
ま♡まだ
一緒っ！
一緒じゃ
なきゃっ…
あ!?
あっ
あぁアッ
ジュポ
ジュポ
う
あ♡
とても
いとおしかった
……ッ


キャ♡
あッあ
ああ
アッ♡
はッ♡
ゴ
ピッ
あぁ……!!♡


はぁ
はぁっ……
次の日
彼女は
泣き腫らした顔を
化粧でごまかして
職と部屋を
探しに行き
俺は――
ごめん
こもも


な…
んで
…？
なんで
よぉっ!!


私のこと
……
嫌いに
なったの？
違うよ


すごく好きな
人がいて
その人で
手いっぱい
なんだ


そんなっ
そんなの
ひどい
…！
本当に欲しい
ものの
ためなら
こんなに冷酷に
なれるんだな
俺は自分で
思ってたよりも
ずっと
悪い人間
なのかもしれない
美月の
言葉どおり
――
美月が迷ってた
部屋のこと
だけどさ
やっぱり俺の
学校のそばの
方にしろよ
ゆり
あ…ッ
んっ
美月
聞いてる？
んんっ
きっ
きい…てっ


…はは
ぐちゃぐちゃ
…だなっ
だ…っ
ア♡
だって
えっ♡
うっ嬉しくて
ところけてる♡
あの頃の
美月の気持ち
今はよく
わかるよ
ものっ…
あン♡
好きな相手を
支配する
それだけで
他のこと全て
乗り越えられる
気がするんだ
END


やだっ
やめてよ
怜司っ
ウソでしょ!?


春香……
――気分が悪い
や
あっ


はっ
あっ
ああっ
君が君の母親にどんどん似てくるからだ
ああっ

EVERYTHING


そうして
君はどんどん
俺の知らない
誰かになっていく
あっやっ
だめっ
だめだめ
だめっ…！
ふ
あっ
あぁあっ
……！
俺の手の
届くうちに
俺のものにして
しまいたかった


…はっ
はーっ
はあっ……
そのすべてを――


最低だよ
怜司は！
最低！
やっとわかったよ
何でママが怜司から
離れてったか!!
初めて…
だったんだよ？
なのに
こんなの…
ひどいよ


だったらどうすりゃよかった？
もっと優しく愛でも囁けば喜んで受け入れてくれたか？
――！
ふざけんなっ!!
ボカ
ロリ
ピタッ
ピタ…
ガバッ
カ…


ママにこないだ
男紹介
されたよ……
そうか
再婚したいとか
いきなり
言ってんだよ
ひどいよね！
いいんじゃ
ないか？
……
あのねえ
気に
ならないの？
ママが一方的に
会うの拒んだまま
怜司との関係も
うやむやに
なって！
もう別の男と
深い仲になって
いるとかさ！

心配しちゃいないよ

あいつには男を見る目がある

いい男だったろ？

どこが！

……ひでえな

俺もコミかよ……

あっあっ

恰司は違うからねっ

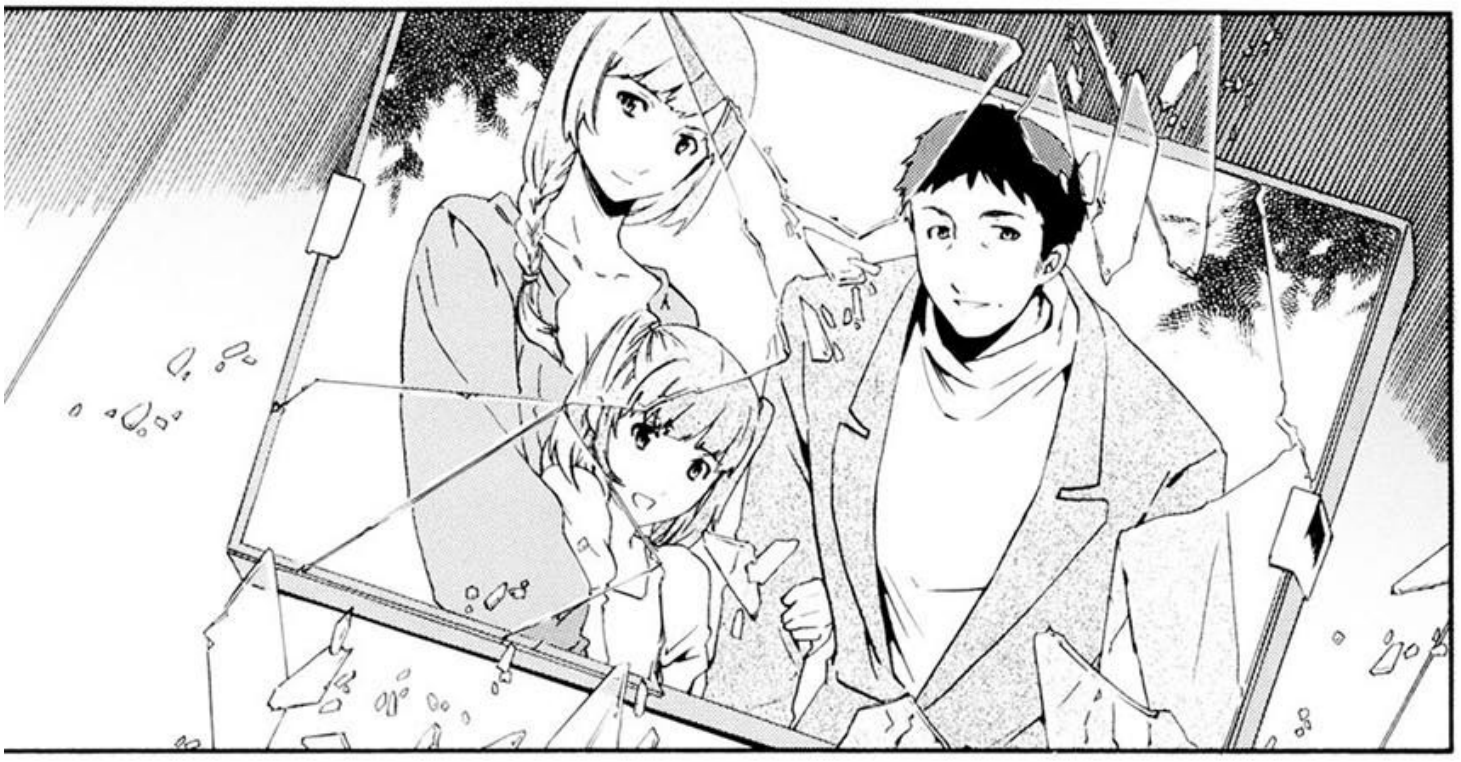
恰司は…

私が初めてパパにしてもいいって思った人

だからもっと頑張ってよ

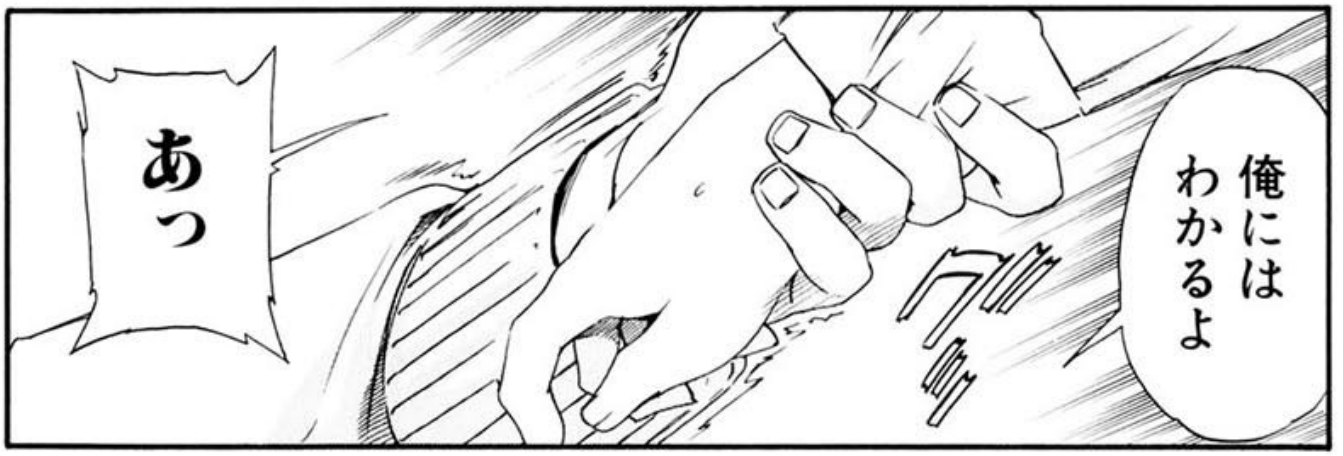
それでなきゃ…私……


……そうでなきゃ
何だ？




カタン


…また
来るとはな
あんな目に
遭ったのに
どうしてだ？
理由なんて
どうでも
いいじゃん……


俺には
わかるよ
あっ


本当はずっと
俺のこと
誘ってたんだろ
こんな短い
スカートで
わっ…
こんなやらしい
パンツを
はいて


一人暮らしの男の家に
夜遅く一人で…
ばっ…ばっかじゃないのっ
別にあんたに見せるためにスカート短くしてた訳じゃ…！
じゃあどうしたいんだ？
……ッ！
俺にどうしてほしい？
本当に父親のように振る舞ってほしかったか？
はっ…あっ!?
ひゃわっ……


違うよな？
だってこんな
……
父親相手に
娘が欲情
するはずがない
ぐちゅぐちゅ
ちゅぷん


…はっ
あっ
あっ
…ん
んんっ


あ
あっ
あ――
～～…っ♡
ヌウッ


うそっ
……
うそ…
だよっ
こんなっ
…あっ♡


…はっ
はあっ……
ヒク…
ヒカンッ
帰れ
怜司
…私っ……
……
……
や……
え…？
いいから今日は帰るんだ
やだやだ
やだっ
やだよっ…
…なんだよ
おまえ……
……
……


！
あの女の
所がいや
なんだろ？
だったら
ここから
学校に通い
ここに
帰ってこい
——わかった
…ずっと
ここにいろ
その代わり
俺は自分の
好きな時に
おまえを抱く
曖昧で実りのない
関係を持つのは
もう俺はごめんだ
れ……
あっ……
どうする？


……はっ
PONSDALE
あんっ
ああんっ♡
は♡あっ♡
やあ…♡


あ♡
あ♡
う♡
うんっ♡
ふっ♡
あ・ア
あっあっはっ♡
ンッ♡
ニュポッ
チュポッ
ヌチュッ
ニッチュ

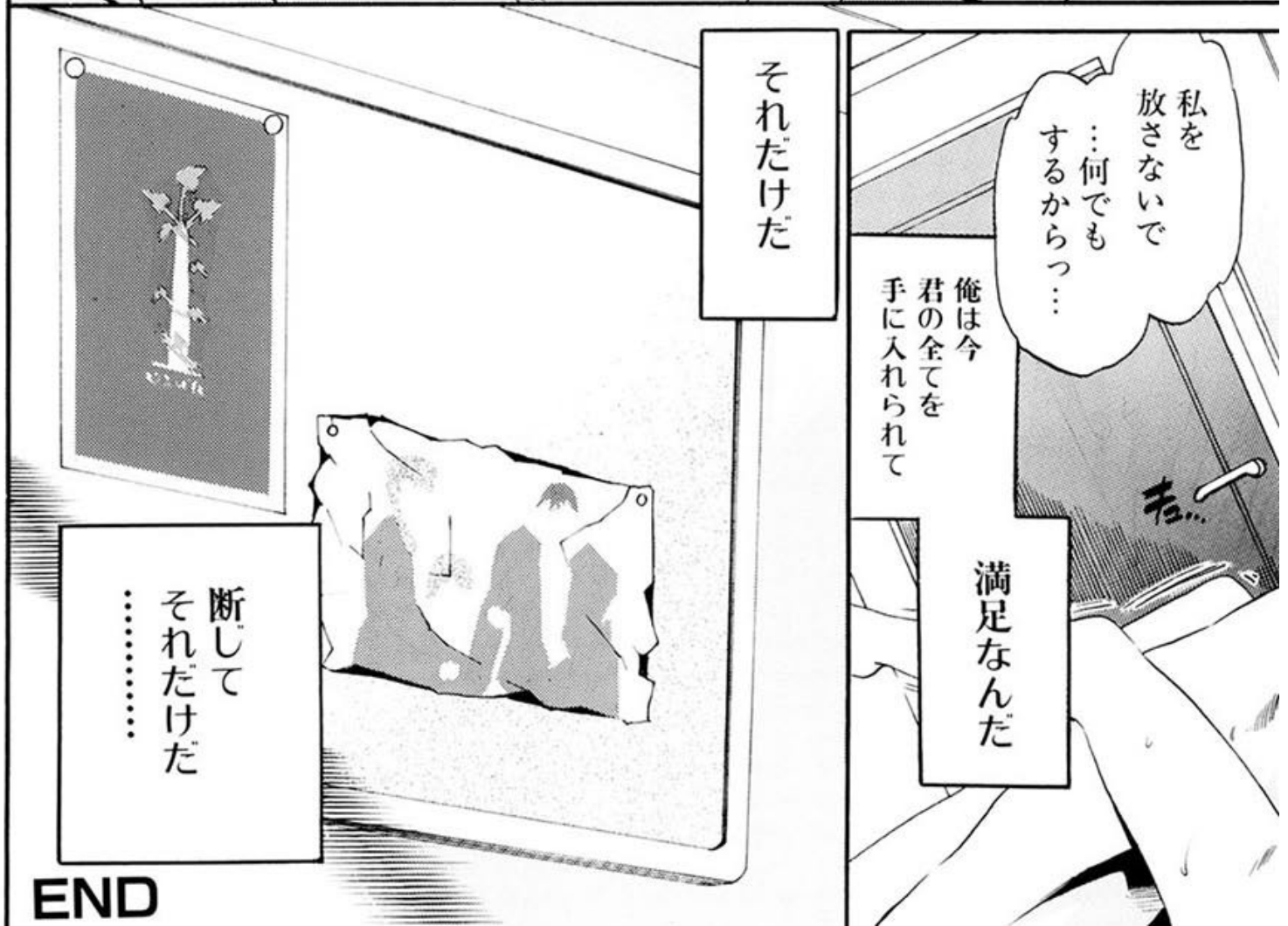

あ♡
はんっ♡は♡
ああア♡
…君は子供で
世間知らず
だったな
チュポッ
ヒクッ
ヒクッ
チュポッ
チュポッ
チュウッ


自分の力の
及ばない相手に
好き勝手にされる
ことがどんな気分か
君は
知らなかった
もっ♡
もォ
ら♡
めえ～～～♡
だけど
これは決して
復讐じゃない
マッ♡
ママッ♡
がっ♡あっ
しっ心配ッ♡
してんのっ…
なんて？
んっ…！
毎日どこ
ほっつき歩いてん
…だってえっ
何…で
帰ってこないのか
…ってっ…！
で？
何て
答えたんだ？
ひ♡…っ
あっ
〝あんたには
関係ない〟
て…っ
はっ♡
はいっ♡
はッ


そうか……
あんたには
関係ないでしょ！
あっ
あぁん♡
俺の言うとおりに
したんだな
ンッあ♡
偉いぞ
あぁ♡
ごほうび
…だっ
ムアッ♡
あァ♡んっ
ア
ア・あ♡…
あ～…ッ♡
ア♡…ッ♡
――
～～～っ♡


…はっ
俺は決して
君に
君の母親の
面影など
見ていない
はあっ…


恰司…ッ
好き……
はぁ♡
好きだよ
……♡
はぁ♡
はぁ


私を
放さないで
…何でも
するからっ…
俺は今
君の全てを
手に入れられて
満足なんだ
それだけだ
断じて
それだけだ
……
END


あ――
毎日毎日
たるいぜ
学校
退屈
だよな――


じゃあ 部活でも
入ればいいのに
やだよ
めんどくせ――


……
も――
あーあ
なんか
面白いこと
起こらねーかな


！
――
あるよ
面白いこと


うん？

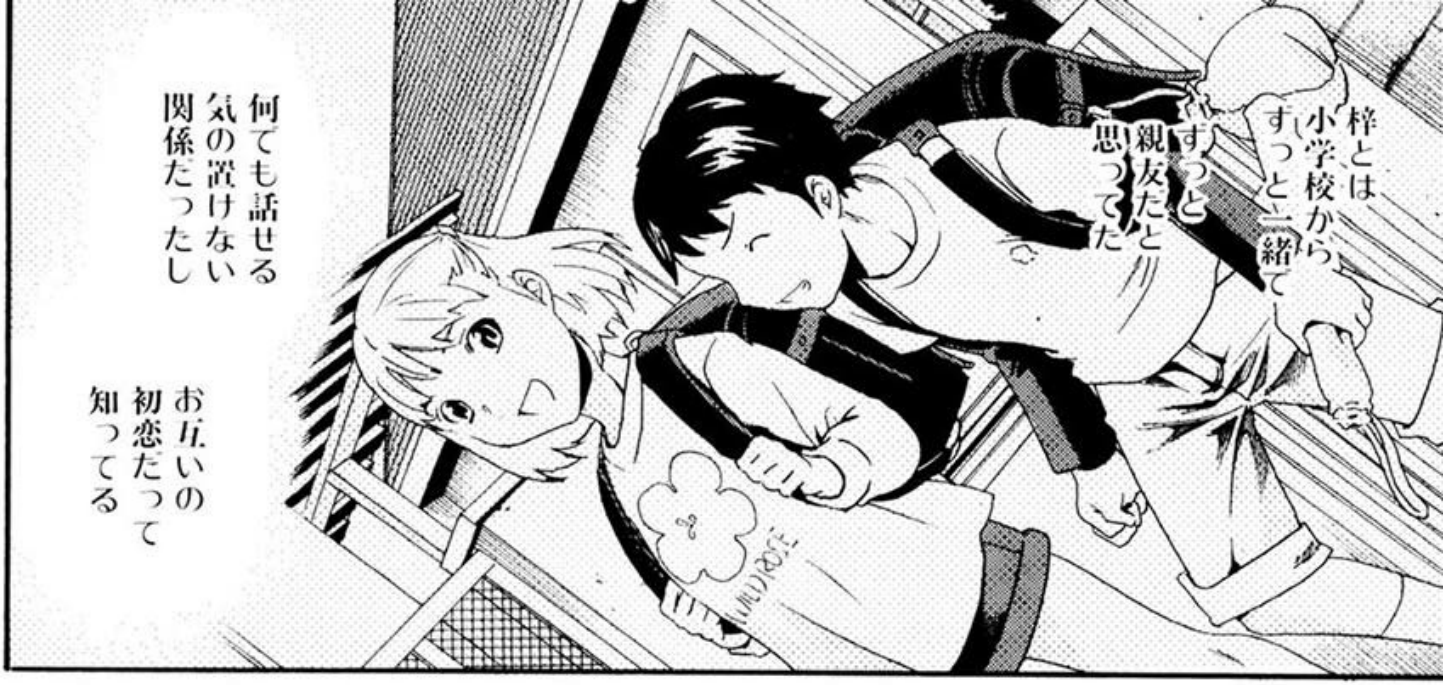
EASY LOVE

前編






おはよ
翔(かける)！
ガタン
ドキ
お…
おはよ
梓
なんだ？
カカ…
一体何が
起こったんだ
これ
どっき
どっき


梓とは
小学校から
ずっと一緒で
ずっと
親友だと
思ってた
何でも話せる
気の置けない
関係だったし
お互いの
初恋だって
知ってる


だからいきなり
キス…されるなんて
思ってもなくて
ゆうべからずっと
パニくってるん
だけど


何よりよく
わかんないのが
自分が
なんて……
なんで
避けるかなあ


避けてるっ
うう……
べ別に避けてるわけじゃ……
ドキドキ
落ち着け！鎮まれっての!!!
なんだよ心臓！
なんでこんなにドキドキすんだよ！
ドキ
相手は梓だぞ!?
…やっぱ昨日のあのことのせい？


私とのキスは
いやだった？
そ
そんなわけっ
ズキ！…。


俺 鈍いの
知ってんじゃん！
俺達って何でも
話せる関係じゃ
なかったか？


違うんだ
そのさ 俺
……
おまえが俺のこと
そーゆー対象に
見てるなんて
気付かなくてさ
っていうか
言ってくれよ


……
ん――



翔と恋が
できるのか
試して
みたかったの
ラ…
翔は気に
ならない
……？


――そうだった
俺達は
何でも話せる
間柄だけど
完全に
わかり合ってる
わけじゃなかった
ﾌﾗ…
特に最近の
梓の気持ちは
全然わからない
…しかし
いーにおい
するな梓……


ていうか
胸っ！
ドキドキドキドキドキ
ﾑﾆｭｯ
胸っっ!!
くっつけすぎっ
翔…すごく
ドキドキしてる？
わ 悪かったなっ
私もだよ
…なんか
不思議
…ねえ


キス
もう一回しちゃおっか
うん……
……う…


本当に…わけわかんね…っ
ん♡ん…
ふ…
ちゅ…ちゅ
ちゅっ
頭ん中ぐるぐるだ
だけど…ああ


梓の唇
…ん……
やわらかくて
あったかい
……
ふ……っ♡
ぺた…
ぴと…っ
カラダも熱くて
…柔らかいんだ
こんなに…！
ガクッ
そうだよ！
梓は女
なんだから…


ん…う
か…けるっ
ちゅく…
ちゅう
ちゅぅ…
翔う…っ
ヤベ…
勃ってるよ
俺
ムク
梓も 多分
気付いてる
当たってる
し……


バレても
いいって
思うなんて
ヘンだけど
はっ…
押しつけるの
やめらんね——
…いいよな？
はあっ
はっ
梓だって
こんなに
興奮してる
から…!!
はあ♡
ちゅ
ちゅぱ…
ちゅっ
翔う♡
ふあ…っ♡


梓あ……
…ん？
ぽっ
させて…よ
俺
したい……


これ以上の
こと…？
うん

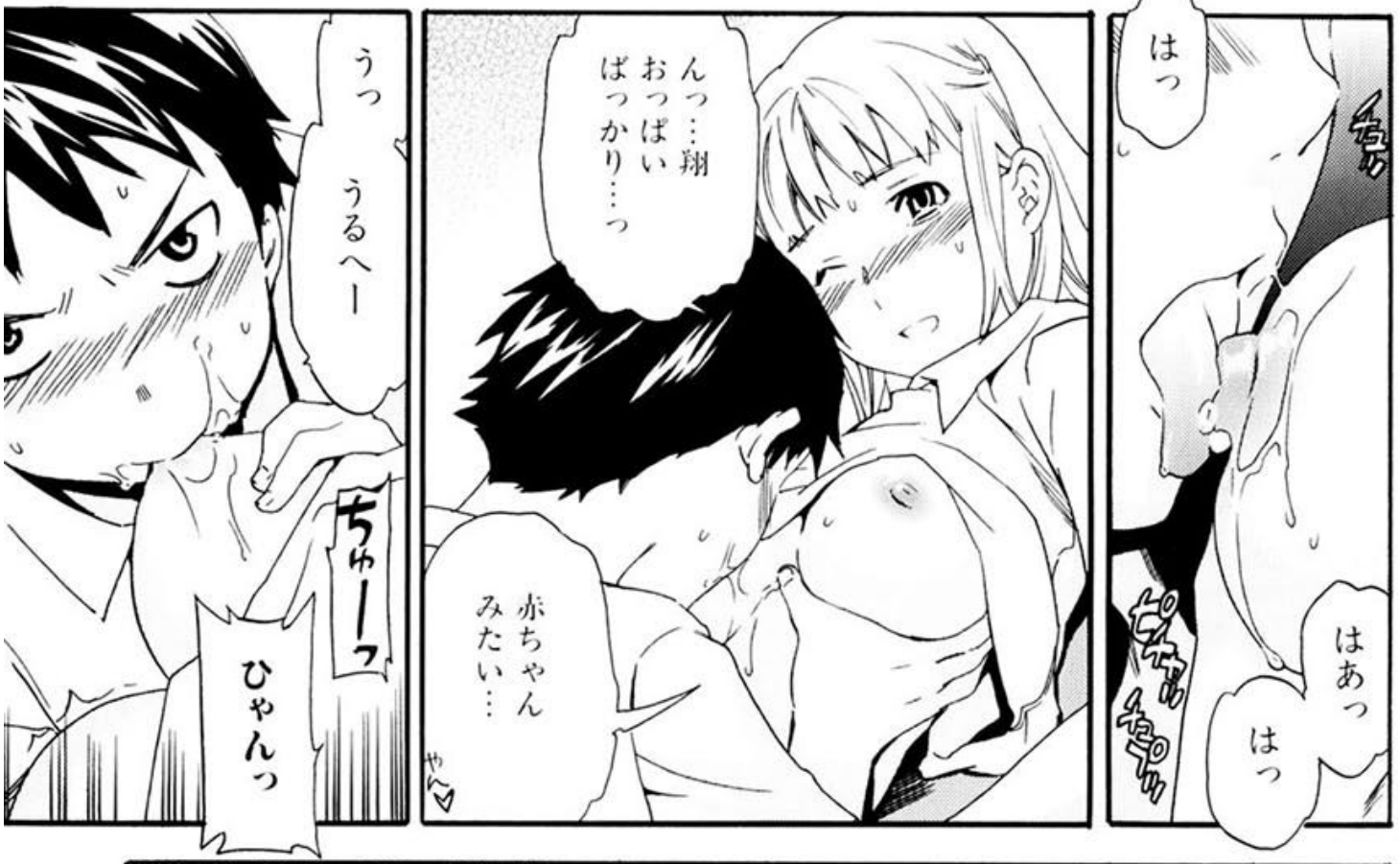

いいよ……
翔がそんな目で
私のこと見るの
初めてだね


悪い気
しない♡
だから
…いいよ


しちゃおうよ
……


…はっ
はあ…
はっ……


ふ…っ
ちゅ…
はあ
はっ
ん…っ


はっ
はあっ
はっ
ピチャ
チュプッ
んっ…翔
おっぱい
ばっかり…っ
赤ちゃん
みたい…
うっ
うるへー
ちゅーっ
ひゃんっ


でもさ…
梓もこれ
興奮
してるだろ
ちゅっ
…あ
あっ
おしっこじゃ
…ねーし…
ちゅくっ
ちゅくっ


やっあっ
そこだめっ
ちゅくっちゅくっ
翔う♡
ふああ!?
はあ
はっ
はっ
梓あ……
ちゅくっちゅん
ちゅん


…はっ
はあ…っ
しっ…
信じ…
られないね…っ


私たちこんな
…恥ずかしいこと
しちゃってる
…うん
でも
俺もう
やめらんねーよ
……


ん……っ
ちゅくっ…
は
あ
あっ
あぅっ
んっ
うっ
くぅ…んっ
は……
入った…っ
梓……
きちっ…
あ……っ


はっ
ああ♡
やう…っ


はッ♡
あッ
あずさ…っ
梓！
梓あ！
んっ♡


はっ
はアッ
ヤバい
ヤバい
はっ
ヤバいっ


うわ…っ
きっ！
きもち…
い…っ


なんだか
急に俺っ
あっ
ぎゅっ
ああ…っ♡
はあ♡
あんっ
梓のことが…っ
翔うっ♡
ふあ♡
あっ♡



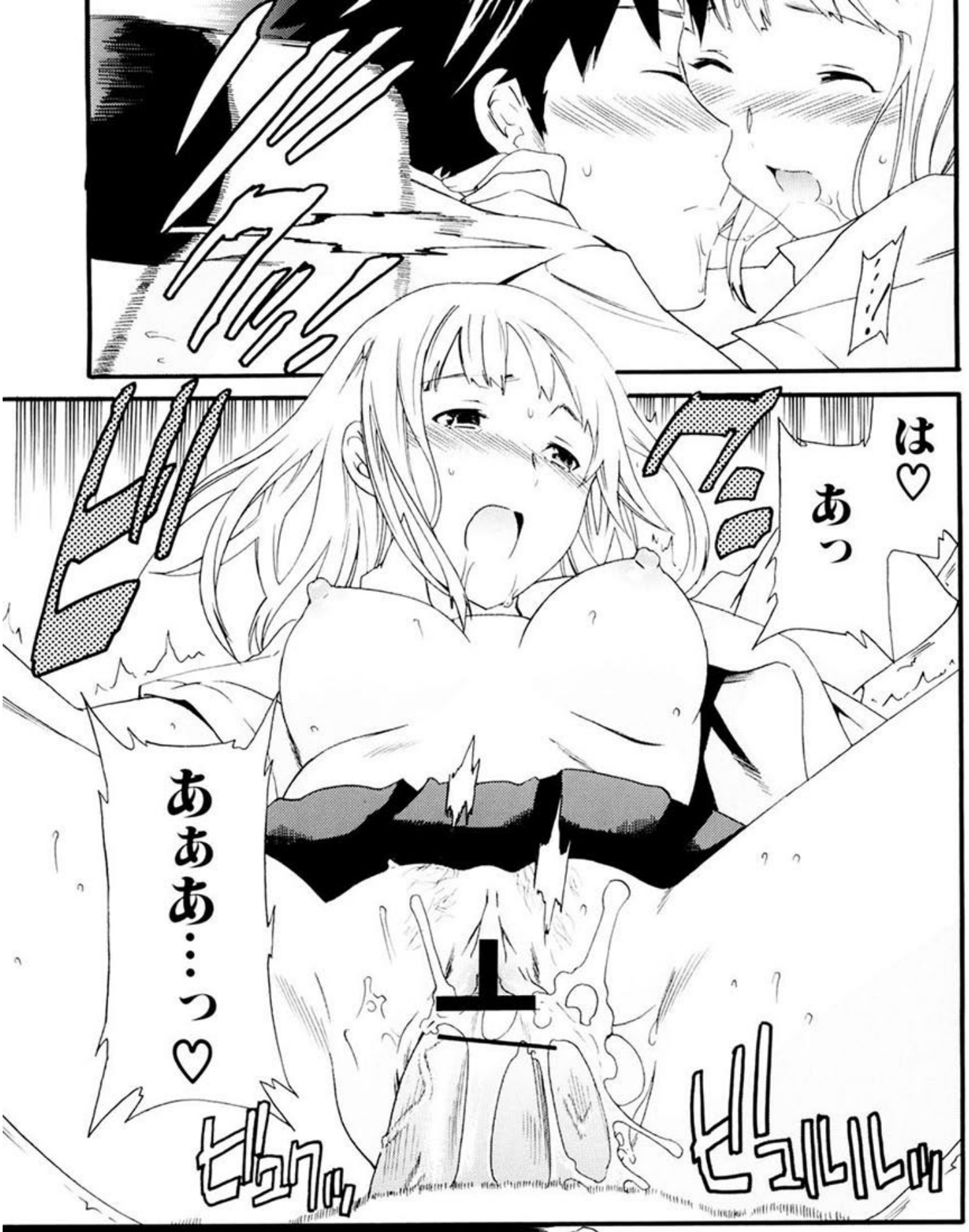
ためだっ
梓の中に



出したい…!!






は♡
あっ
ああああ…っ♡

…っ
は……





To Be Continued


恋をするのは
とても簡単だ
…はぁ
はぁっ
はっ…
面白いね
翔…♡
…って
いうか…っ
なんか色んな
手順すっ飛ばして
ね——か…？
はっ
はぁ
はぁっ

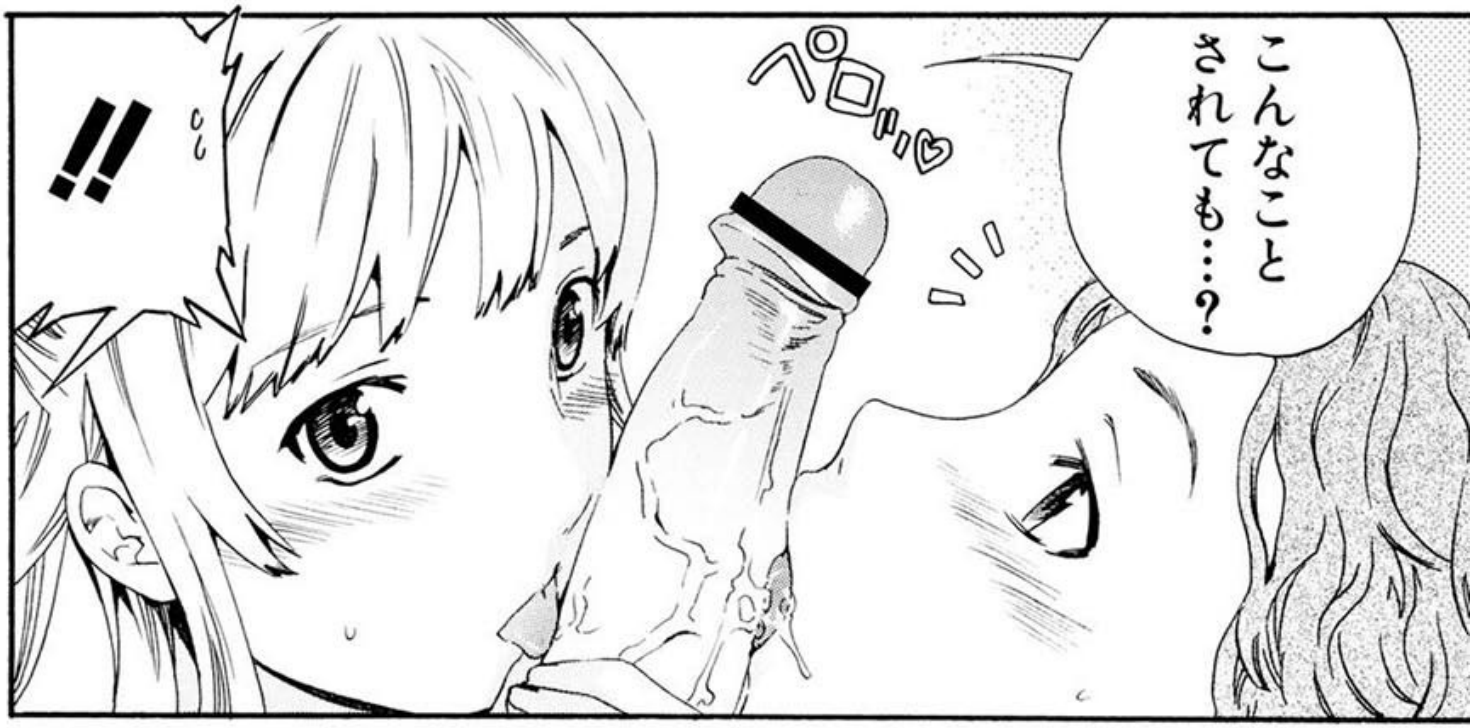
EASY LOVE

中編




だって
手っ取り早く
退屈を紛らわせ
たいんじゃないの？
梓…は
どうなんだよ
んっ？
「ヤキモチ」
ちゃんと
感じてるか？
ん？
どーだろ
よく
わかんないな
翔は？
「彼女」に
見られながら
こんなことされてるのって
どんな気持ち？


あっあんまり
ありえない状況
すぎて…
…っ
ビクンッ
現実味がない
…っつーか
やられてる
実感が
……っ
ホントに？
実感わいて
こない？


こんなことされても…？
ペロッ♡
!!


う
うわわっ
ペチャッ
ペロッ
こんなの
私入れてたんだぁっ♡


楢崎…もっ
ふも？
ジュルルル…
よくオッケーしたよな
…こんなことっ


リカはやりまくりなんだよね
うお
人ひひわふいほほいわふぁい！

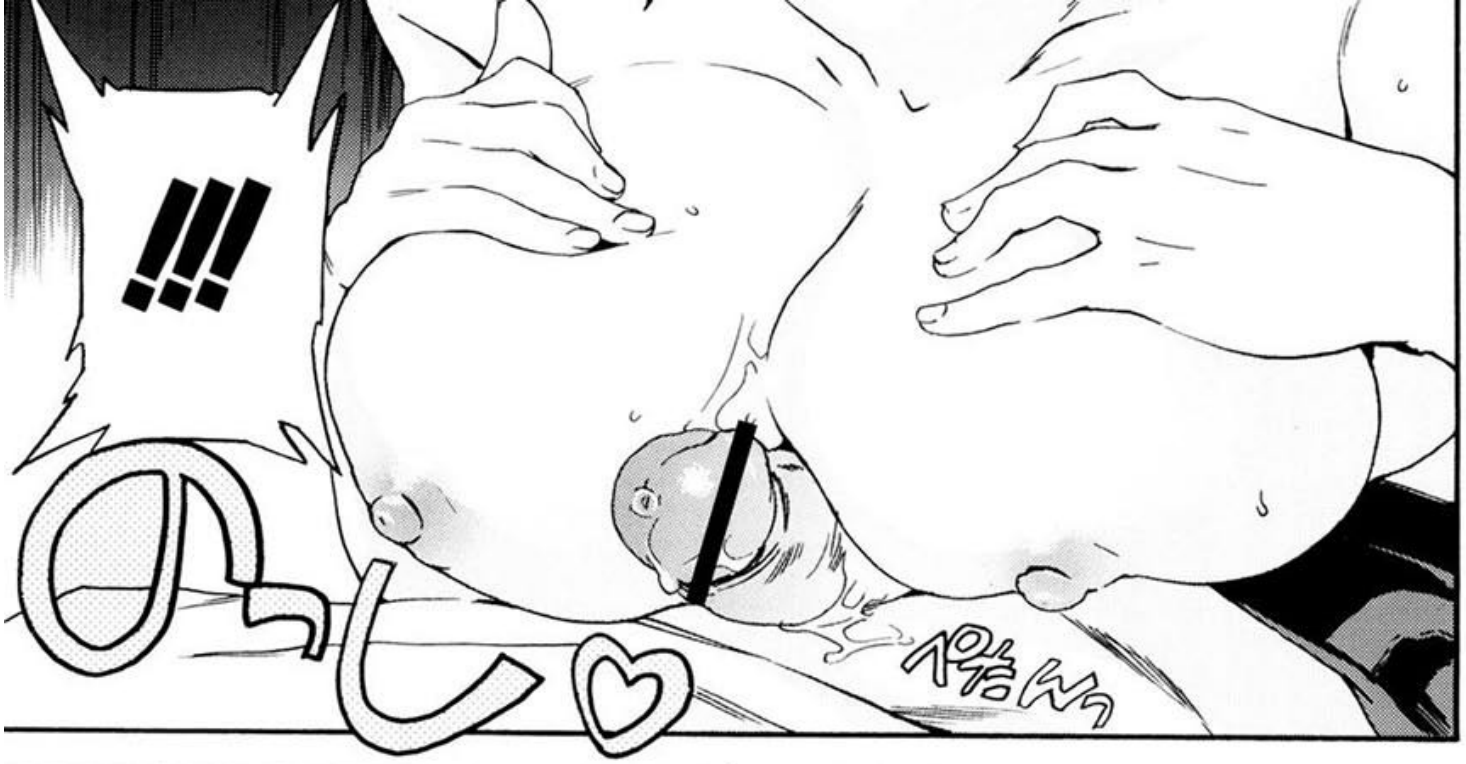

しながらしゃべるなよ
にゃははごめぇん♡


なぁんか楽しそうなことになってるからぁ
巻き込まれてみよーかって思ってさっ
エ…エロ…。


それにあたし翔くんのこと
ちゃこ
ちゃこ
ちゃこ
ちょっとタイプだったりするから♡


どお？
気持ちいいかなぁ？
うぬ？
ちゅっ
ちゅく
なんか
リクエストある？
どこが
気持ちいいとか
ナニしてほしーとか
ムギュッ
う…
うん
……
ビ！？…
え――と
……




!!!
のっしぃ♡
ぺたんっ


柔らけぇ!!
きもちいいっ
翔くん
コレ好き
じゃない？
ズリュリュ
ズリュリュ


俺のチンコ
にっ…!!
おお
おっぱいがっ!!
うお
うお
おおおっ
すっ
すげー!!
ふにゃ
ふにゃ


あっ…ああ
好きっ…かもっ…
はぁ
はぁ
でしょでしょ!
胸ずーっと
見てたんだもん
わっかり
やすいねー
ハァハァ♡
ズリュリュ
ズリュリュ


んっ…
んしょっ
んっ
…っ
うっ
わっ
はっ
あっ
あっ


ああッ

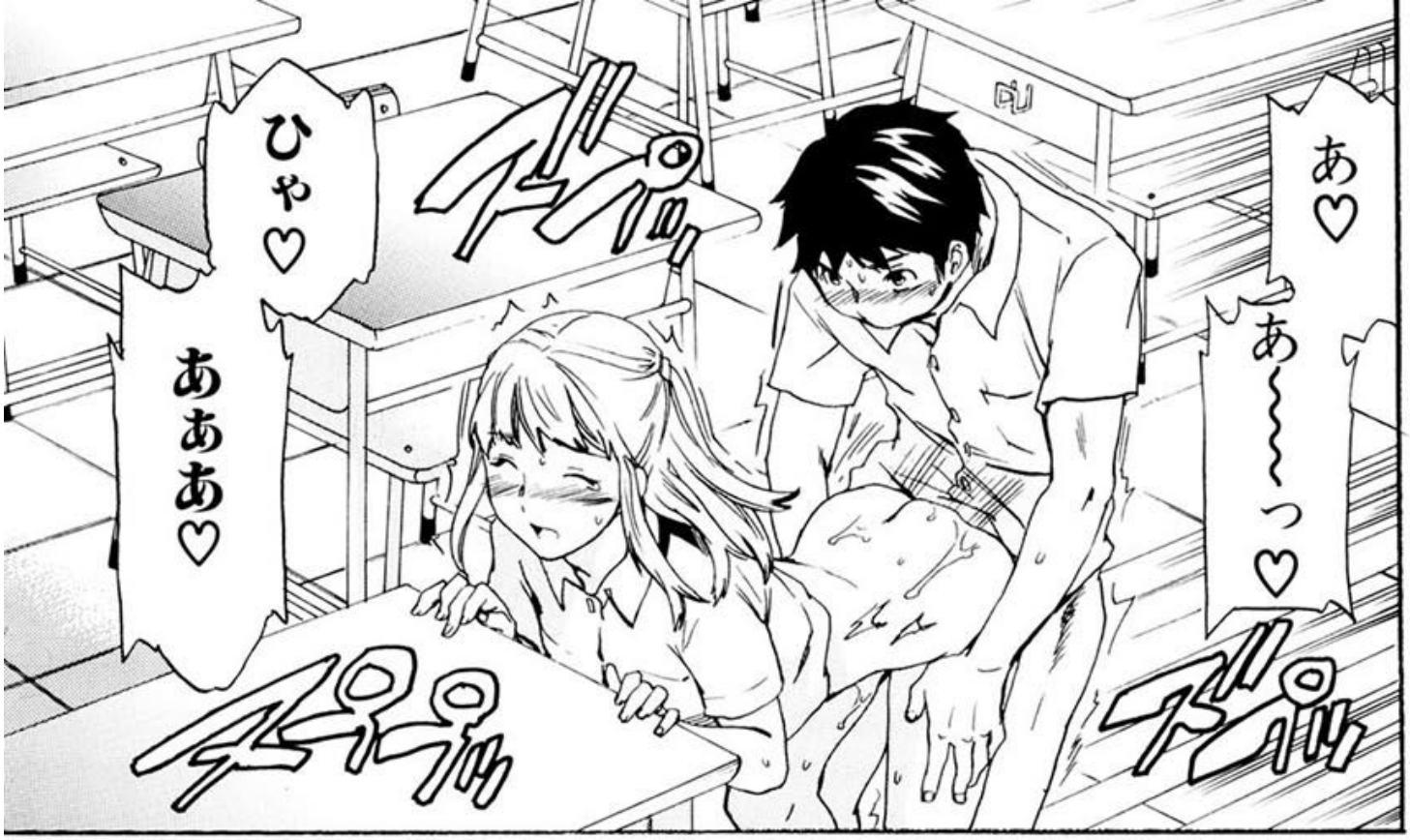

トロ…
ネ
うひゃ～～～
派手に出したねっ
ベトベトだよ～～～
ご…ごめんっ…
はっ
はぁ
なんだ？今のっ…
はっ
めちゃくちゃ気持ちよかっ…
くちゅ…
ん？


梓……


2-3
～～あんっ
あっ
ああっ
ああ♡
ふぁあ♡
ああ♡
やんっ♡


すげ…
はっ
はっ
何もして
なかったのに
こんなに
濡れてる
なんて…
はッ

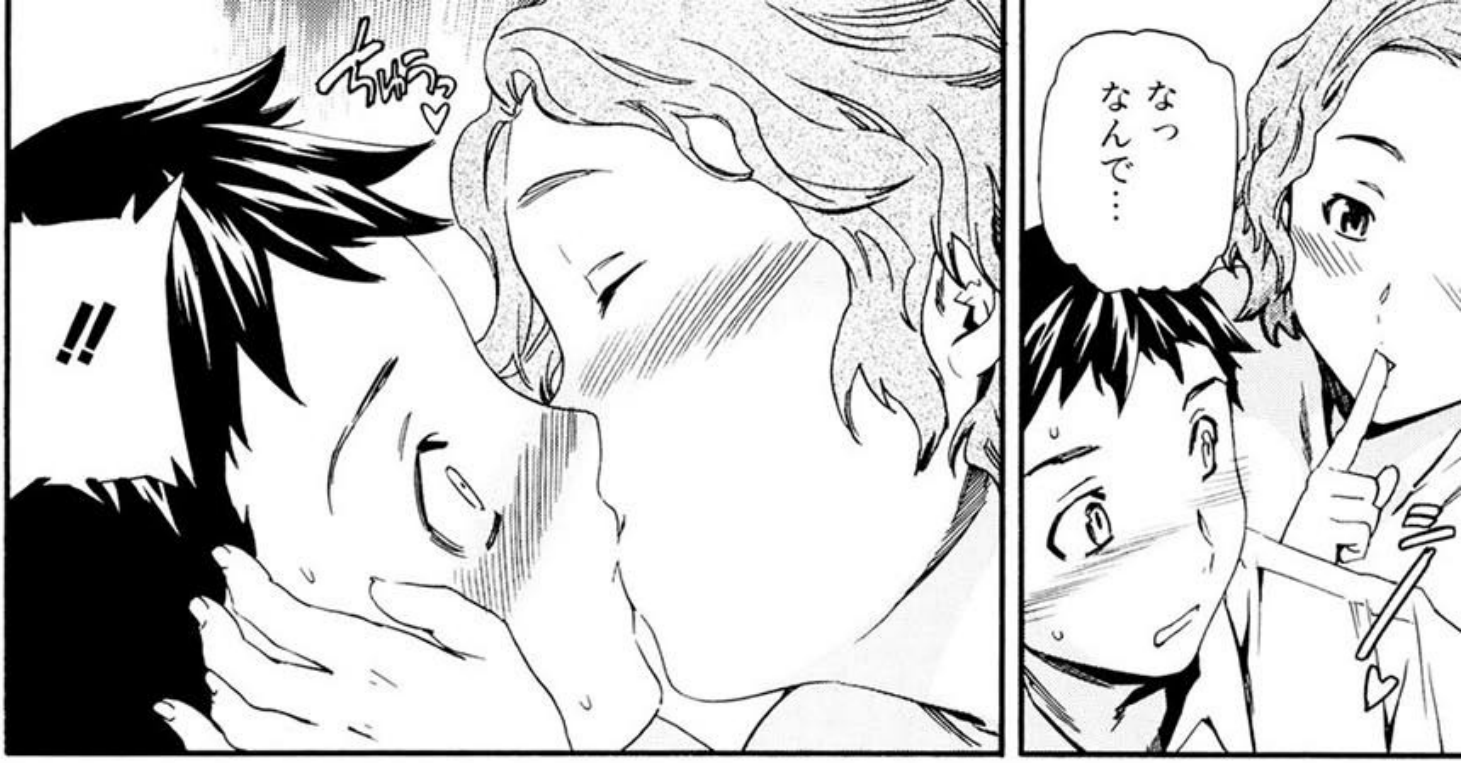

だ…て
彼氏っのっ
コーフンッ♡
あっ
してるトコ
見て
感じないっ
ワケッ…
ッ


あ♡
あ～～っ♡
ひゃ♡
あぁあ♡


あっ
はあ♡
翔うっ♡


あ…
梓っ
やっあっ
激しっ…


ッ!?


なっ
なんで…
ちゅっ♡
!!


んっ
ふっ
ジュル
はっ♡
あっ
ピクッ
ビクビク…
ああっ♡

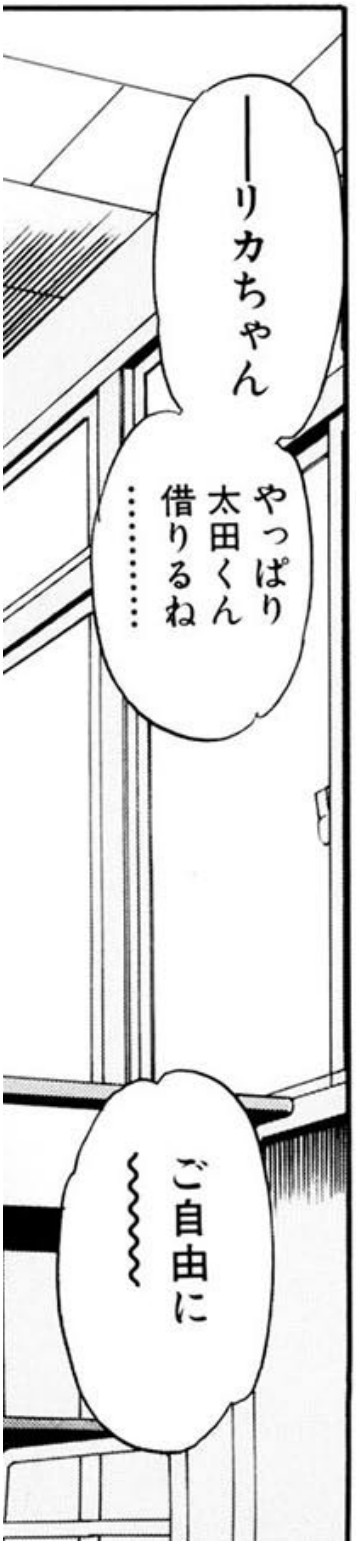

ヤ…ヤベ…ッ
楢崎めちゃくちゃ
…キスうめー…っ
ふっ
うっ
そっ
それに…
んっ
背中に
おっぱいが
……


…ン
あん…っ
は…♡
ムギュッ
んんっ…
ひゃわ!?
なっ♡なんかっ
急にっ
翔…のがっ
もっとっ
ふくらんで…っ
ああっ
ひ♡
あ♡
あ…
あっ!?


わけ
わかんねっ…
きもちっ
よすぎて
ビュッ
ビュルルッ
ふあああっ♡
出るっ!!


…は…っ
はあっ
…は…っ
は…っ


翔
いっぱい出…
ちゅっ
ちゅぅぅ
ふ――♡
ふ――
ふ――っ♡


――リカちゃん
やっぱり
太田くん
借りるね
……


……
……

ご自由に
〰〰


…太田って…？
あたしのセフレ
は…
モゴ!?


今度は翔がヤキモチやく番だよ


ちょ…
梓！
待っ…
恋をするのは簡単だ
だけど恋は時にとても厄介なものだ
いつ居心地あるイミいいんだけど悪い……
ねえ 今度はあたしともちゃんとしよ？
それともやっぱ胸がいい？
To Be contined





EASY LOVE

後編


ちゅく
ちゅく
…
どしたの？
へ…？
なんか
翔くん
上の空？
今日は
気が乗らない？


や
そんなこと
…ないけどさ
ちゅくっ
ちゅっ
まっ
そーだよねえ！


いただきー
ちゅくっ

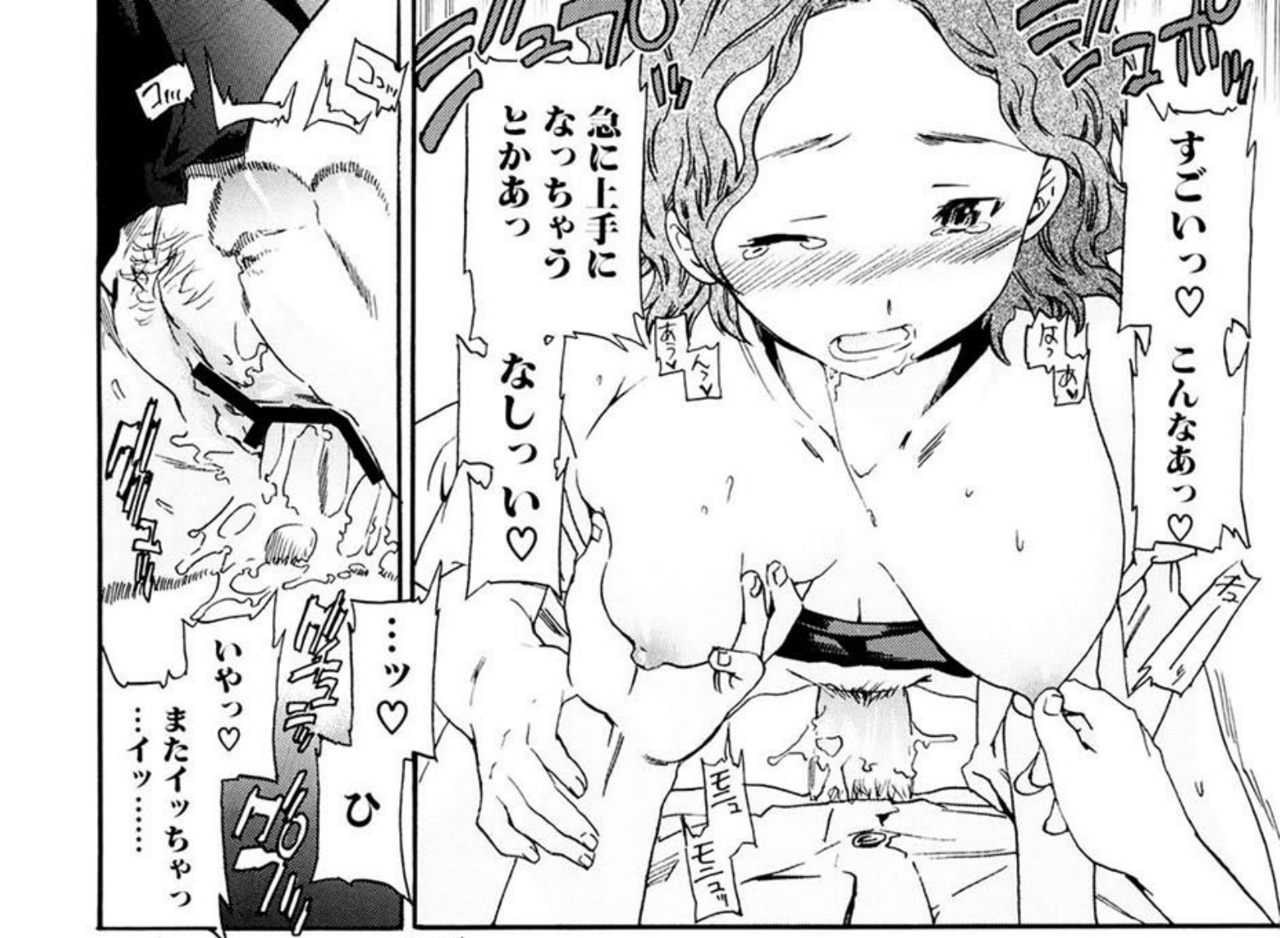

まだこーんな
ばっきばき
だし♡
じゅぽぽ♡


～～～あッ！


やっ
ああっ
かっ翔くんにっ
突き上げられてるっ♡


はっ
うあ…っ
奥にいっ
当たっちゃうっ


とっ♡
とろけ…
ちゃうよおっ


すごいっ♡ こんなあっ♡
急に上手になっちゃうとかあっ
なしっい♡
…ッ♡
ひ
いやっ♡
またイッちゃっ
…イッ……


……!!
…
あ…っ
キュッ
あー…♡
はああ～…っ♡
ッ…!
トクン
——楠崎とのセックスはヤバイくらい気持ちいい
気持ちいいんだけど
あ♡また…
もぉらめだよぉ…♡
あ…ッ♡


なんかめちゃくちゃ
居心地が悪いっつーか
梓！
ひっ久しぶりにさっ
一緒に帰ろーぜっ
あれ？今日も
翔は「用事」が
あるんでしょ？
大事な
ね
じと
あ あのなっ
俺は榕崎と
じゃなくさ！
梓と
付き合ってん
だから
梓の方を
優先…
もしかして梓も
太田って奴と
会うとか…！
会わないよ


リカが待ってるんでしょ？
〜〜だったらさ！一緒に…！
…行ったら？
〜〜〜
だめだっ
ああああっ
俺
こーゆーのっ!!


…じゃ
じゃあ
私達…
つき合うのやめ……
違うっ
そうじゃなくて
楢崎や太田との
関係を…！
…あれ？
…翔
もしかして
……梓
俺より太田の方が
いいって…
思ってる？
…ねえ
翔
テク
覚えた？


…え？
いーっぱい
リカと
したんでしょ？
私のことも
感じさせてよ
おかしくなっちゃう
ぐらいに
うっ…
私が翔以外の誰とも
したくなくなる
ぐらいに
しよ…
翔
私のこと
狂わせてっ…


…ふあ…っ
んっ　ふうっ
ちゅっ
ん……
む
ふっ♡
ちゅぷ
んっ
ん――っ
ちゅっ
ちゅん
んんっ…
ちゅうっ
ッ♡
…ん
やっ
クリュッ
ちゅ
やっ
あっ
翔うっ…
やじゃないだろ…？
モゾ…


はぁ、
はぁ、
感じさせろって
…梓が言うから
俺 覚えたこと
総動員して…
うひゃ…
耳っ…
くちゅ
ぐちゅ


はぁ、
ちゅっ
ちゅっ
やっぱ…っ
梓のにおい
好きだ
あんっ
おっぱいも
……


リカの方…がっ
大っきい…っ
じゃんっ…
あ
でも俺…っ
梓のの方が
いいっ
そっ
そんな
…のっ
ちゅ
プロッ
ぺろぺろ


だめだ…
俺の方が
狂っちゃいそ
ふー
ふー
梓のこと
めっちゃ欲しー…
ふー
むぎゅ


うあ…
ヤバ


梓…
もう
挿れたい…
え…
ちょっ
待っ……


や…だっ
もお…っ
ヒクッ
ヒクッ
トロ〜


びしょびしょだ…っ
こないだよりず――っと
ぽ、ぽっ
すげー女ってこんなに濡れるもんなんだ…っ
ぽぁ


それとも梓が
…んッ
特別濡れやすいっ…のかなっ…
ちゅっ…
あ
あぁっ
にちゃぴゅっ…


ふ
あ♡
あぁあっ♡


……ッ
うわ
気持ち
い…っ


梓…の
こともっ
もっと


気持ちよくっ
するからっ…
!!


ひ!?
あ!?
こんな
ふーにっ
うあああ!?


ココっ…
擦り上げんの
梓もっ
やっぱ…っ
感じんだあっ


感じてるのっ
バレてる…からっ
梓のまんこっ
ぐちゃぐちゃで
収縮っ…してるっ


こんなザマでっ
他の奴のがいいとかっ
言わせねーか…
いっ
言えなっ…
ひゃんっ
んっ?


しってないっ
もんっ
翔以外…と
わたっ…しっ
あ♡


う…
うそつけっ
うそじゃっ
なあっ
いっ♡
かっ翔だけっ
こんなっ
うまくっ…
なるから私っ
だめ♡
もぉ♡
…ひゃ
あっ!?
うわ
梓っ…
しめすぎっ…
あっ
あああ
あっ…!!


…翔の出方を
見たかっただけ
なんだ
それに私
ひとことも
やるとは
言ってないよ


そ…
そっか…
ごめん
梓のこと
疑って…
それに
俺 楢崎と
やっちゃったり
してさ…


私が
けしかけたん
だよ?


もう
今後一切
しないから!
翔が謝るなんて
ヘンなの!


でも
嫌だったん
だろ?
相手が嫌なこと
…わざわざしたく
ねーじゃん


なんで
私にとって
嫌なことが
わかるの？
翔は…
私の気持ちが
わかるの？


わかんねーけど
わかる
なにそれ？


何考えてんのかは
わかんねーけど
どう感じてる
のかはわかる
だから
嫌な思いさせて
ごめん
…俺 梓には
優しくしたい


…狂わせられちゃったな――……
ん？
梓
何か言っ――――


わっ
だき
ねえ！
今私がどんな気分かわかる!?
へ？
…ふふ
恋って簡単だね翔！
END



Meltはツルツルっと話が出来
EASYLOVEはタイトルに反して
難産だった気がします。
一癖も二癖もある
少女達を描くのは
楽しかったです。
ではでは、また。

Cuvie

■STAFF
N.Hara. V.Tomohira. M.Shimai.
D.Akashiya
■SPECIAL THANKS
Elleco. M.Higashiyama.
Manimani. Y.Yamaguchi and You!



したいからスルの

いずみコミックス㉘

平成20年11月10日　初版発行

著者 …… Cuvie
©Cuvie 2008
編集人 …… 極豪山

発行人 …… 多田在良

発行所 …… 株式会社 一水社

〒105-0004　東京都港区新橋5-35-8 水野ビル2F
電話 03(3437)6315(代)

印刷 …… 三共グラフィック株式会社

装丁 …… みずき透

●乱丁・落丁の場合はおとりかえいたします。